

グループネットワーク

●関連会社案内



MIMAKI USA, INC.
150 Satellite Boulevard, suite A,
Suwanee, GA 30024
<http://www.mimakiusa.com/>



MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA
Rua General Valdomiro de Lima, 275 Jabaquara, Sao Paulo-SP
<http://www.mimakibrasil.com.br/>



上海御牧貿易有限公司
上海市徐汇区桂平路
555号桂平园45幢1~2楼
<http://www.mimaki-smt.cn/>



台湾御牧股份有限公司
台中縣潭子鄉中山路3段37號



PT. MIMAKI INDONESIA
Jl Danau Sunter Barat Blok A3 No.13
Jakarta Utara 14350
<http://www.mimaki.co.id/>



株式会社ウイズテック
〒192-0903
東京都八王子市万町1-3
<http://www.wiztec.co.jp/>



MIMAKI EUROPE B.V.
Stammerdijk 7E, 1112AA Diemen,
The Netherlands
<http://www.mimakieurope.com/>



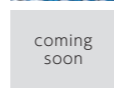
Mimaki-nbn GmbH
Gewerbestr. 11, 82211 Herrsching,
Germany
<http://www.mimaki.de/>



御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司
平湖御牧貿易有限公司
浙江省平湖市經濟開發區興平一路
西側宏建路北側



MIMAKI KANPHOR INDIA PRIVATE LIMITED
232 Udyog Vihar, Phase IV Gurgaon, Haryana
<http://www.mimakikanphor.com/>



MIMAKI AUSTRALIA PTY LTD
Units 14, 38-46 South Street, Rydalmere,
NSW, Australia



株式会社グラフィッククリエーション
〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-41
TKB御殿山ビル
<http://www.graphic-creation.com/>

株式会社ミマキプレジジョン
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3
<http://www.mimakiprecision.co.jp/>

●国内事業所案内



★**本社・牧家工場** 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
加沢工場 〒389-0514 長野県東御市加沢1333-3
長野開発センター 〒381-0025 長野県長野市北長池520-1
東京支社 〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-41
TKB御殿山ビル
大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-13-41
NF江坂ビル
札幌営業所 〒060-0031 北海道札幌市中央区北一条東
2-5-2札幌京 第2ビル 1F
仙台営業所 〒984-0825 宮城県仙台市若林区古城3-10-7

長野営業所 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
さいたま営業所 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-1-2
明治安田生命大宮ビル1F
金沢営業所 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2-12-6
名古屋営業所 〒468-0052 愛知県名古屋市中区井口1-309
京都営業所 〒601-8122 京都府京都市南区上鳥羽北塔/本町12-2
神戸営業所 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30
三宮国際ビル
広島営業所 〒731-0101 広島県広島市安佐南区八木1-7-25
福岡営業所 〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉家5-11-15

株主メモ

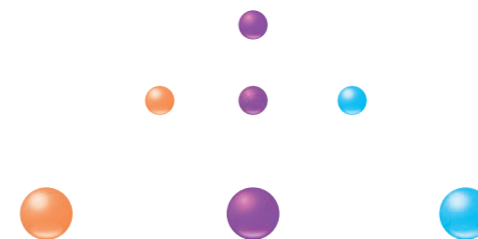
事業年度 4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日
単元株式数 100株
株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社ホームページ(<http://www.mimaki.co.jp/>)
に掲載いたします。ただし、電子公告によること
ができないやむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所 大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)
証券コード 6638
(ご注意)
1. 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されて
いる口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されて
いる証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)では
お取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が
口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)
にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

BUSINESS REPORT 2013

2013年3月期 第38期報告書

2012.4.1-2013.3.31



Innovation.



Mimaki
株式会社 ミマキエンジニアリング

証券コード 6638



株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長

小林 久之

こばやし ひさゆき

中野 秀代

なかの ひでよ

株式会社トリアス
代表取締役

THEME
1

2013年3月期の市場動向と ミマキエンジニアリングの取り組み

中野: 社長就任後、初の決算となった当期ですが、主要販売市場の動向について、お聞かせください。

小林: まず、SG(看板)市場ですが、グローバルなエコの流れから、環境に優しい水性のラテックスインクや昇華転写インク及びUV硬化インクのニーズが高まりつつあります。また、コスト優先のソルベント(溶剤型)インク市場もエコインク搭載のプリンタを中心に、緩やかな市場成長が続いています。当社では、市場のエコ化を推進するため、水性ラテックスインクを搭載した新製品を発売しました。今後は、画質・安定性の改善を通じ、本格的な市場訴求を推進する計画です。

中野: 戦略的に市場開拓を進めているIP(産業用)市場、TA(捺染)市場はいかがでしたか?

小林: これら市場では、必要な時に必要なだけ、というオンデマンド・プリントのニーズが、グローバルに顕在化しています。インクジェットによるデジタル印刷は、在庫リスクもなく自然に優しいということで、たとえば、スマートフォンカバーの印刷に代表されるIP小型機市場で、当社のデスクトップ型UJF-3042シリーズがダントツのシェアになっています。TA市場では、新興国を中心に大きな成長が続いています。特に、環境問題の観点から、印刷後の洗い工程が不要な昇華転写方式が大きく伸び、当社でも、同方式による既存製品の販売が、

アジアやトルコといった新興国で大きく拡大しました。

POINT

- SG市場はエコ化を背景に緩やかに成長
- IP市場ではデジタル化が徐々に浸透
- TA市場は新興国を中心に大きく成長
- 産業用印刷のデジタル化が徐々に進展

THEME
2

プラットフォーム構想に基づき、 500シリーズを本格立ち上げ

中野: 当期は、過去2年をかけて開発を進めてきたプラットフォーム構想による500シリーズの販売が始まりました。

小林: 上市が計画より数カ月遅れましたが、今期中に予定していた全ての機種が出そろった見込みです。今回のプラットフォーム化は、『高速&高画質』をコンセプトに、ヘッドとインクを世界のトップメーカーとコラボ開発している当社の強みを活かし実現しました。連続無人運転が可能な生産機を実現するとともに、インクの単価も下げました。これにより、機械のみならず、インクの拡販も強化してまいります。

中野: プラットフォーム構想は、今後どのように進むのでしょうか?

小林: 『速くても美しい』プリンタを実現するには、複数の技術要素が複雑に絡む仕組みを制御する必要があったため、従

来の延長では解決できない技術的課題に多々直面しました。様々な産みの苦しみを乗り越え、TA市場向けの2機種を皮切りに、IP市場向け、SG市場向けに各1機種を導入しました。さらに、TA市場向けに1機種を導入する予定です。これで、高速機のプラットフォーム開発に一区切りがつかますので、次は、成長する新興国市場を視野に、エントリーモデルの開発に着手します。

THEME
3

2014年3月期は、 500シリーズを原動力とする 中長期ビジョン「M500 スタート」の年

中野: 500シリーズによる事業を本格的に立ち上げる本年度は、ミマキエンジニアリングの今後の成長を占う重要な年度とのことです。

小林: 年度スローガンとして、「M500 スタート」を掲げました。500シリーズを原動力に、売上高500億円の達成に向けてスタートの年という位置づけです。その成長を牽引するのは、IP、TA市場での新たなニーズの掘り起こしです。たとえば、TA市場におけるスクリーン捺染は、100年以上の長い歴史を持ちます。紙への印刷は瞬間的に結果が出るのですが、布の場合は、インクを繊維の内部まで浸透させ、表面はもちろん、裏面にも色を抜かなければならない。このため、前処理でインクの浸透性を上げる、印刷後の熱処理に工夫するなど、様々な化学的処理が必要となります。これらはまさに、職人が作り出す



数値に表せない風合いや感性を再現する技術です。その意味で、捺染市場におけるインクジェット技術は発展途上で、複合的な技術基盤を持つ当社が、優位性をもって戦える市場だと考えています。

中野: 歴史が長いがゆえに、インクジェット技術にとっては新しい市場ということですね。それに対し、IP市場はどのような市場でしょうか？

小林: IP市場は、グラフィックというよりインクジェット技術による加飾加工といえます。だからこそお客様の使いこなしによる付加価値が生きる市場です。デジタル・オンデマンドをコンセプトにアプリケーション提案を行い市場を開拓し、より多くのお客様がご自身のアイディアで付加価値を生み出していただく—これがこの市場における戦略です。

や販売力の強化につながっています。海外においても、展開中の子会社を通じ、日本と同様の取り組みを強化しています。また海外に新子会社を設立する際には、その第一歩として、国内の営業系社員と技術者の組み合わせで赴任させています。技術面では、製品開発のQCD(品質・価格・納期)向上のための組織強化に取り組んでいます。また、将来的な研究開発分野を管理する組織を明確化し、市場創生につながる新技術を多く生み出す仕組み作りにも挑戦しています。

最後に 小林社長からのメッセージ

中野: 最後に、株主様に向けてのメッセージをお願いします。
小林: デジタルプリントの普及が進んでいない既存の市場はグローバルに大きく残っており、さらに新たな用途がひろがりつつあります。一方で、事業を取り巻く環境は、先が読みにくく、変化が極めて大きい。眼前に広がる潜在市場を事業機会につなげるには、営業現場から製品化までのフットワークをこれまで以上に軽くし、変化への対応力を高めなければなりません。プラットフォーム化を通じ、ニッチ市場でクリーンヒットを打ち続けるための準備ができた現在、「ニッチでトップを狙う」との当社DNAを再認識し、全社一丸となった攻めの経営に取り組んでまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、転換期にある当社に変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。

THEME 4 デジタル・オンデマンド市場の創生に挑戦するミマキエンジニアリング

中野: デジタル・オンデマンド市場の開拓をこれまで以上に加速するということですね。

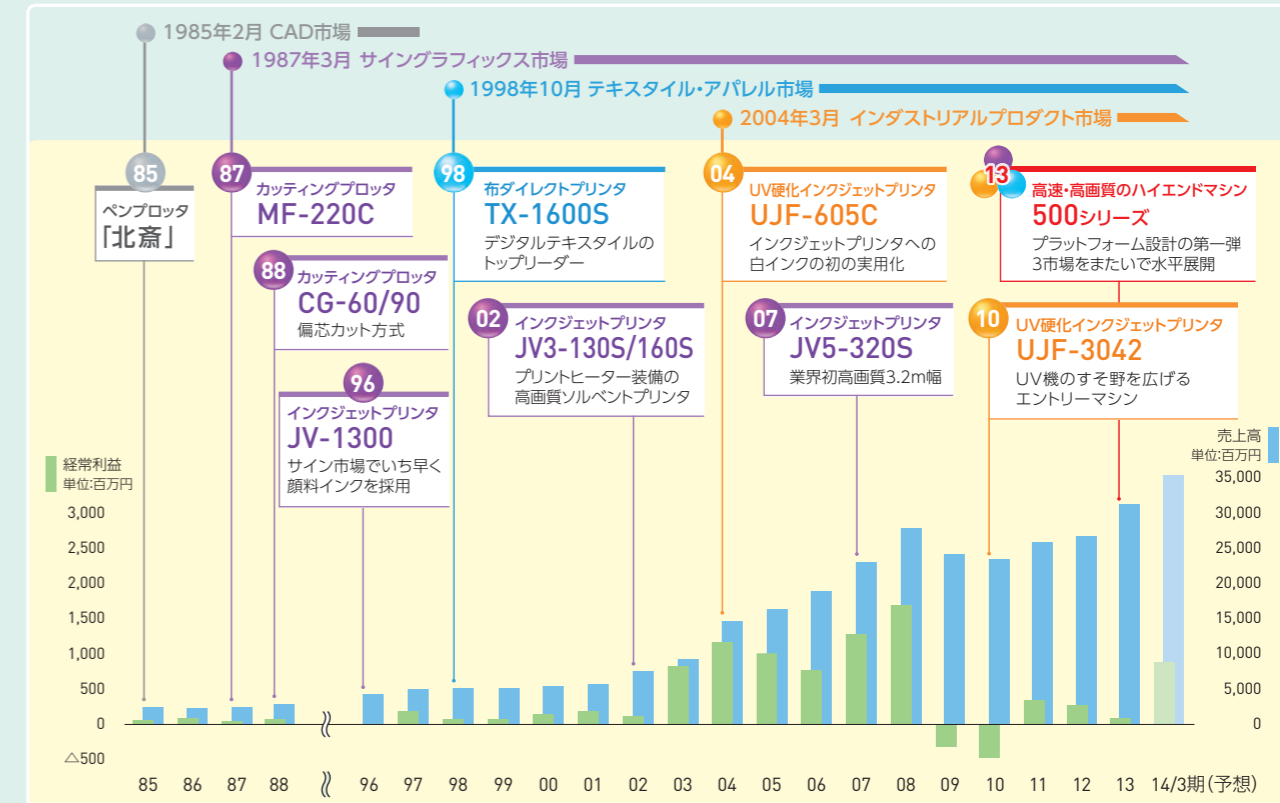
小林: デジタルプリントは、ユーザーごとに異なるニーズへの対応により、今後とも確実に市場に浸透していくと考えています。多様な市場ニーズを捉えるため、当社では昨年、国内の営業体制を2倍に細分化しました。その結果、リアルタイムで密度の高いお客様情報を入手できるようになり、商品戦略

Trends in Business Performance

業績の推移

業績の推移

サイングラフィックス インダストリアルプロダクト テキスタイル・アパレル



ミマキエンジニアリングは、インクジェットとカッティングの技術を柱として、オンデマンド生産の可能性を追求する、市場志向の開発型企業を目指しています。

- 経営ビジョン
- VISION 1 独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。
 - VISION 2 顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。
 - VISION 3 市場に常に「新しさと違い」を提供するイノベーターを目指します。
 - VISION 4 各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。

Financial Highlight

● 業績のポイント

2013年3月期 業績のポイント

売上高について

主力の既存エントリーモデルがSG・IP・TA各市場において堅調に推移したのに加え、新興国向け、環境対応、高速・高画質プリントなど市場ニーズにマッチした新製品が売上増加に貢献したことで、製品本体、インクともに好調に推移し、310億90百万円(前年同期比15.7%増)と大幅な増収を達成いたしました。

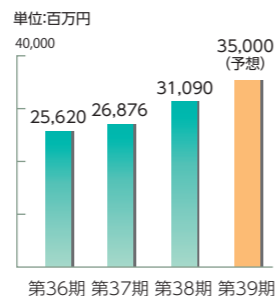
利益について

一部機種種の量産を当社から中国の製造子会社に移管したこと、また製造コストダウンが進んだ既存製品の売れ行きが好調だったこと等により、営業利益は9億36百万円(同123.5%増)を確保いたしました。為替差損とインド子会社に対する持分法投資損失の計上等により、経常利益は79百万円(同71.0%減)、当期純利益は1億32百万円(同38.1%減)となりました。

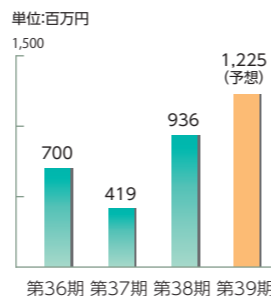
2014年3月期の見通し

金融政策や経済対策による円高是正で輸出環境は改善傾向にあります。環境に左右されない強固な経営基盤の構築を推し進めてまいります。先進国地域はもとより新興国地域にも積極的に販路拡大を図っていくほか、お客様の現場、現物、本音からニーズを拾い上げ、お客様の利益に繋がる提案をより一層心掛けることで、さらなる増収・増益が見込めるものと考えております。

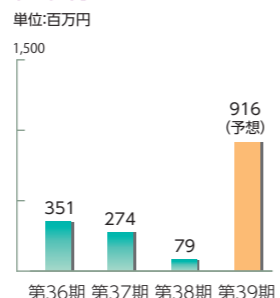
売上高



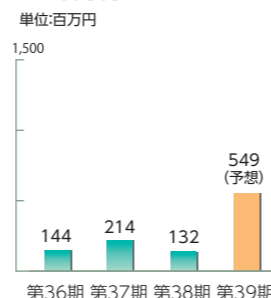
営業利益



経常利益



当期純利益



ミマキエンジニアリングの市場シェア

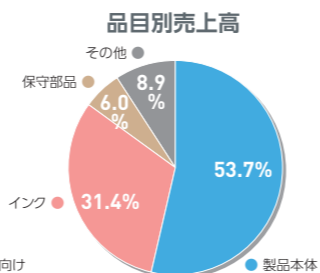
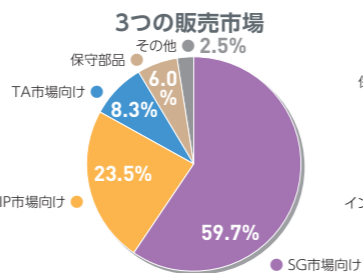
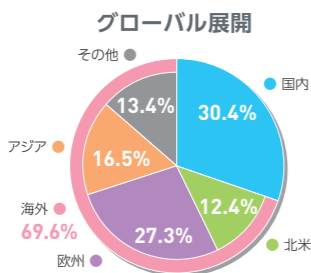
2013年3月期

連結売上高

31,090 百万円

前年同期比

15.7% 増

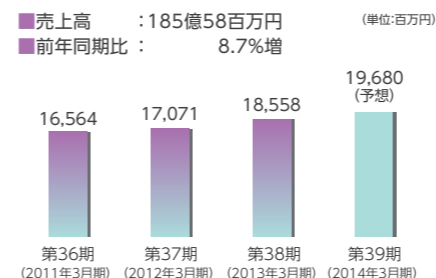


Segment Review

● 市場別概況

2013年3月期 対象市場別概況

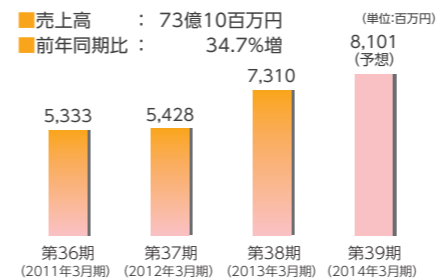
SG・サイングラフィックス市場



当市場向け製品は、広告・看板等のサイングラフィックス市場向けの機種群です。環境に優しい新開発の水溶性ラテックスインク仕様の新製品JV400シリーズと、価格と機能のニーズを的確に捉えた新興国向け仕様の新製品SWJ-320の販売立ち上げとともに、既存製品の主力エントリーモデル及び中高速・高画質の上位機種種の積極的な販売推進活動により販売台数を伸ばしました。その結果、売上高は185億58百万円(前年同期比8.7%増)となりました。



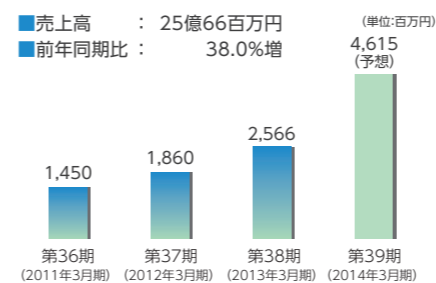
IP・インダストリアルプロダクト市場



当市場向け製品は、工業製品の製造現場等のインダストリアルプロダクト市場向けの機種群です。IP市場向け製品の中で主力機種となったUJF-3042の機能をさらに進化させた新製品UJF-3042FX/HGに加え、新たにUJF-6042とJFX500-2131の2機種種の発売により品揃えをより充実させました。特に新製品UJF-3042FX/HGが、先進国地域及び新興国地域ともに順調に販売台数を伸ばし、売上増加に大きく貢献しました。その結果、売上高は73億10百万円(同34.7%増)となりました。



TA・テキスタイル・アパレル市場



当市場向け製品は、裁断・裁縫加工前の生地(テキスタイル)、Tシャツ等の既製服(アパレル)等の市場向けの機種群です。最速150m²/hの圧倒的な生産性と安定性・低ランニングコスト性能を兼ね備えたTS500-1800及びTx500-1800DSを発売し、デジタル捺染ビジネスの新たな提案とともに拡販に努めました。特に既存製品であるTS34-1800Aが、欧州と新興国地域において販売台数を伸ばし、売上増加に大きく貢献しました。その結果、売上高は25億66百万円(同38.0%増)となりました。



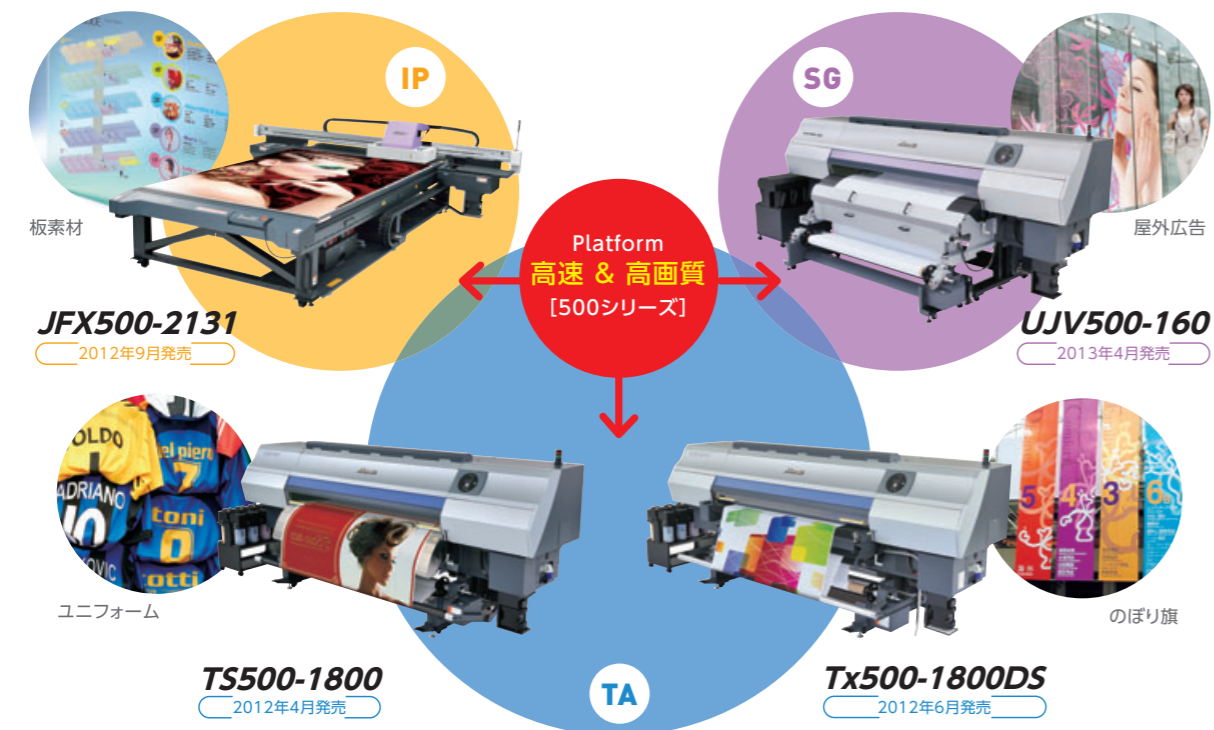
『美しさとスピード』を高次元で両立した500シリーズ

当社は、プリントユニットを共通化し、それを土台にインクやメディア(フィルム、布、紙など)の違いによる専用部分を組み合わせることで製品ラインナップを広げる、プラットフォーム設計を推進しております。

このたび、プラットフォーム設計の第一弾として、『高速で高画質』を共通コンセプトに水平展開したハイエンド機の製品ラインナップ500シリーズを、SG、IP、TAの各市場に向けて発売いたしました。いずれも、ハードとソフト双方を技術

基盤に持つ当社が、「美しく・速く」プリントするための独自技術を結集し、圧倒的な生産力と高画質を実現したモデルです。

プラットフォーム設計は、開発サイクルを短期化し、開発コストを削減するだけでなく、共通機構を採用するため品質の向上にも貢献します。今後は、ハイエンド機のみならず、より多くの販売台数が見込めるミドルレンジ及びエントリー機においてもプラットフォーム設計を進め、各市場への水平展開を図ってまいります。



会社の概況(2013年3月31日現在)

商号	株式会社ミマキエンジニアリング
設立	1975年8月
資本金	20億1,516万円
本社・工場	長野県東御市滋野乙2182-3 0268(64)2281(代表)
従業員	連結1,065名/単体571名
事業内容	コンピュータ周辺機器及び ソフトウェアの開発・製造・販売
取引銀行	株式会社八十二銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行

株式の状況(2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,080,000株
発行済株式の総数	13,920,000株
株主数	1,974名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	2,183,600	15.69
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,272,400	9.14
田中 規幸	1,257,600	9.03
有限会社田中企画	1,200,000	8.62
東京中小企業投資育成株式会社	762,000	5.47
株式会社八十二銀行	420,000	3.02
池田 明	411,400	2.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	408,100	2.93
アヴァシス株式会社	360,000	2.59
野村信託銀行株式会社	304,600	2.19

(注)当社は自己株式573,865株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

役員(2013年6月27日現在)

代表取締役会長	池田 明
代表取締役社長	小林 久之
取締役副社長	佐金 榮
専務取締役	藤田 正秋
取締役	杉本 義郎
取締役	今田 新太郎
取締役	池田 和明
取締役	小林 修
取締役相談役	田中 規幸
常勤監査役	土屋 理義
監査役	今井 征芳
監査役	岩下 智和
監査役	土屋 幸夫

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、当社の事業概要、製品、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。

アクセスはこちら > <http://www.mimaki.co.jp/>

ココをクリック



トップページ

IR情報